



インフルエンザ
対策

No.39

京都府丹後保健所 HP バナー

インフルエンザ NEWS

編集／発行 **京都府丹後保健所**
(丹後広域振興局健康福祉部)
保健室 感染症・難病担当
〒627-8570 京丹後市峰山町丹波 855
TEL.0772-62-4312 FAX.0772-62-4368
www.pref.kyoto.jp/tango/ho-tango

丹後保健所 検索

もくじ

- ◇ インフルエンザ流行状況 … ①
- ◇ 今シーズンのインフルエンザ … ②
- ◇ 鳥インフルエンザについて … ②

*** インフルエンザが流行しています ***

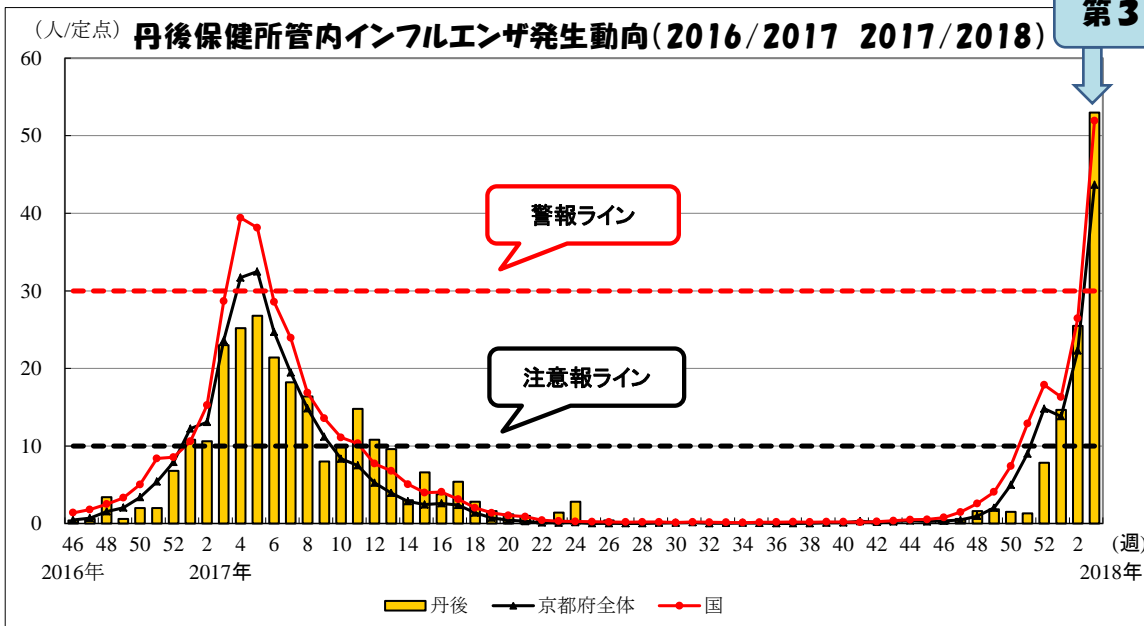
全国的にインフルエンザが流行しており、丹後保健所管内では直近の第3週(1/15~1/21)が定点医療機関あたり 53.00 とピークを迎えています。

一人ひとりがインフルエンザに「かからない」インフルエンザにかかっても「うつさない」対策をとることが大切です。(以下参照)

★インフルエンザ NEWS No. 38 号★

<http://www.pref.kyoto.jp/tango/ho-tango/documents/influnews38.pdf>

インフルエンザ 流行状況 2017-18

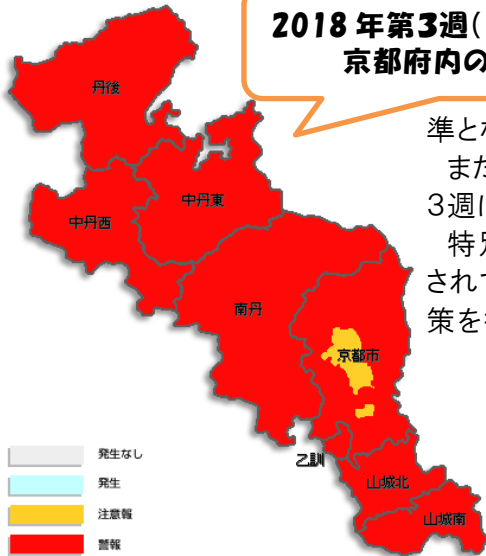


こまめな手洗いと
咳エチケットを
守ることが
大切だね!



丹後保健所インフルエンザ対策啓発キャラクター
ソナウレ君

2018年第3週(1/15~1/21) 京都府内の発生状況



丹後保健所管内では、年明け以降インフルエンザの流行拡大が加速しており、第1週(1/1~1/7)に注意報レベルに達しました。第3週(1/15~1/21)には警戒レベルの基準となる定点医療機関あたり報告数 30 を大きく超え、第2週から倍増しています。

また、学校等の学級閉鎖の報告は第2週時点で今シーズン初めて報告があり、第3週に入ってから報告数が急増しています。

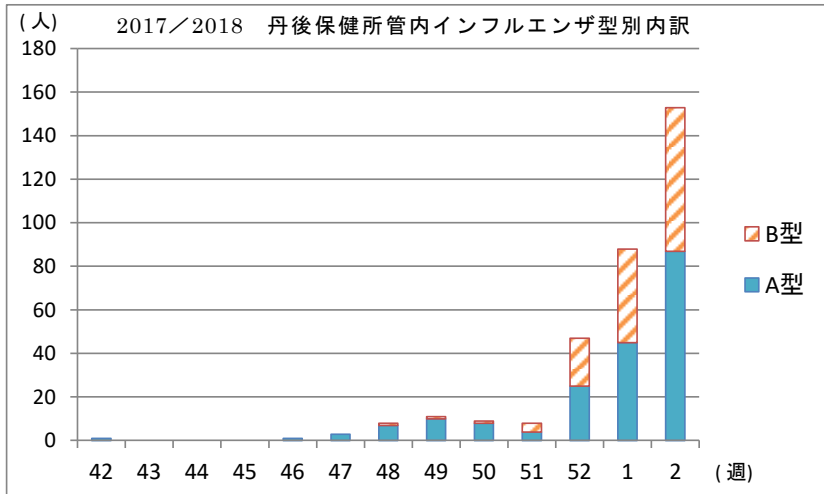
特別養護老人ホーム等入所施設でのインフルエンザ施設内感染事例も複数報告されており、「持ち込まない」「拡げない」「持ち出さない」ために施設内でも感染症対策を徹底いただく必要性が一層高まっています。

府内全域で警戒レベル！今シーズンは過去10年間でもっとも早く警戒レベルに達しているよ!!



丹後保健所インフルエンザ対策啓発キャラクター
パミック

今シーズン(2017/2018)のインフルエンザ

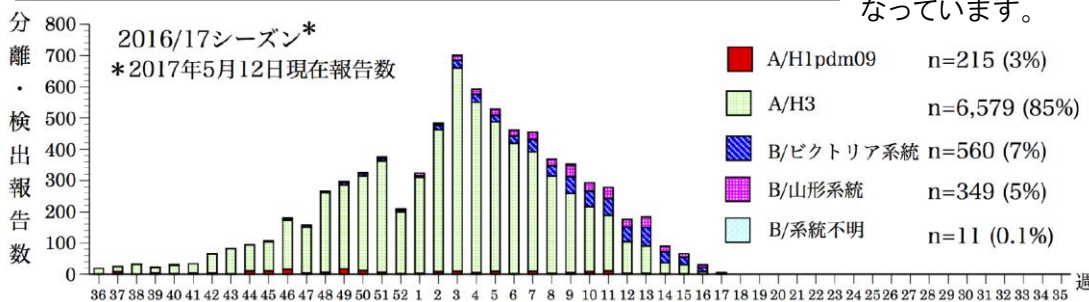


インフルエンザの原因となるインフルエンザウイルスは、A型、B型、C型に大きく分類され、このうち大きな流行の原因となるのはA型とB型です。

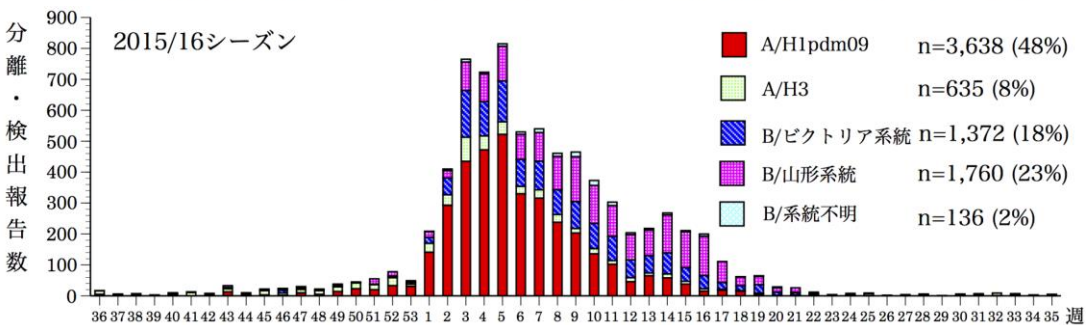
近年、国内で流行しているインフルエンザウイルスは、A(H1N1)亜型、A(H3N2)亜型(香港型)とB型の3種類です。

今シーズンは例年より早い時期からB型の検出例が報告されるようになり、管内では第52週から診断例の約半数をB型が占めるようになりました。

全国的にも11月末頃からB型検出例が多くなっています。



2016/2017
A(H3N2)型が主流
B型増加は第9週頃～



2015/2016
A(H1N1)型が主流
B型増加は第3週頃～

出典：国立感染症研究所「今冬のインフルエンザについて 2016/2017シーズン」より



B型検出例において、「発熱以外咳や鼻汁等の症状がない」「37℃台の発熱」といった比較的症状が軽い症例が多くみられています。

日頃から健康管理に十分気をつけ、感染防止はもちろん、早期発見・早期治療に努めましょう。

鳥インフルエンザ情報

鳥インフルエンザとは、トリに対して感染性を示すA型インフルエンザによる感染症です。通常はヒトに感染しませんが、感染したトリに触れる等、濃厚接触をした場合などにきわめて稀にヒトに感染することがあります。現在のところ、日本ではヒトが発症した例は報告されていません。

今シーズンは島根県と東京都で死亡野鳥から鳥インフルエンザウイルスが検出されており、1月には香川県の養鶏場で鳥インフルエンザが発生しています。また、先日京都市内で鳥インフルエンザ疑いのカルガモが回収されており、現在詳しい検査をしています。このような発生状況をふまえ、関係機関では野鳥の監視レベルを引き上げて対策をとっています。

丹後広域振興局では、今年度も10月に管内の養鶏場で鳥インフルエンザが発生した場合を想定し、合同訓練を行いました。



今年度の
訓練の様子

H29.10.27
京都府
宮津庁舎にて

